

命とくらしを守る政治へ

日本共産党

声あげれば
変えられる

民意が政権の暴走ストップ

「#検察庁法改正案に抗議します」が1千万件

数々の疑惑から逃げる安倍政権が不正を暴く検察の人事に介入するなど許されないと国民の怒りが爆発。

黒川氏（前東京高検検事長）辞職 賭けマージャン

黒川氏への処分は「訓告」。甘すぎる処分に世論も激怒。真相究明が必要です。

内閣支持率急落

責任転嫁する安倍首相に対し、内閣支持率は、20%台に急落しています。



苦しい現状 奮闘する現場

大学独自の支援広がる

学費や生活費の支払いで困窮する学生が急増。大学独自の支援は道内で34校に広がっています（25日現在・日本共産党調べ）。日本共産党を含む野党で授業料半額を求めています。

医療・介護現場から対策急げの切実な声

道内でもクラスター感染で、医療・介護現場は大変。日本共産党は当事者のウェブアンケートも実施し、医療・介護団体や、労働組合とともに政府と道に財政支援など対策を求めています。

収入の8割補償を、道内600人解雇
新型コロナの影響での解雇や雇止めが北海道で74営業所、600人（22日現在・日本共産党調べ）。これはパートやアルバイトの数は未集計です。助成金の活用促進と、雇用を守る政府のさらなる対策が必要です。

一人10万円

給付金は全ての人がもらえます

申請の書き方がわからない人はお気軽に下記にご相談下さい。

第2次補正予算計上へ

新型コロナへの予算が不十分だとの世論の高まりを受け、第2次補正予算が決定される見込みです。広範な世論と、日本共産党や野党の国会論戦が安倍政権を追い詰め、医療提供体制の拡充や中小企業支援、文化・芸術支援などで大きな前進を生み出しました。

世論の力で支援拡充



ほっかい新報

2020年6月号外

発行所/ほっかい新報社（1965年8月10日第3種郵便物認可）

〒065-0012 札幌市東区北12条東2丁目3-2 ◆日本共産党北海道委員会の見解を紹介します

ご連絡・ご要望は日本共産党北海道委員会まで
TEL011-750-1500、FAX011-750-1501

第2次補正予算案

医療体制強化に3兆円、家賃支援に2兆円

世論の力が政府動かす

第2次補正予算案の一般会計総額は約32兆円です。

◆医療提供体制の強化に約3兆円を計上。新型コロナウイルス患者を受け入れる医療機関などに交付される「緊急包括支援交付金」は、約2兆2千億円を積み増しました。

◆家賃補助も実現。売り上げが前年同月比で半減の事業者などを対象に、家賃の3分の2を半年分助成。

◆持続化給付金は、2次補正から今年開業した事業者らも対象に含めました。

◆雇用調整助成金は、日額上限を1万5千円に引き上げ。

◆文化・芸術関係者や団体を支援するため総額560億円を計上。

◆教員や学習指導員の追加配置、感染症対策・学習保障等、高速通信回線を計上。

◆児童扶養手当を受けているひとり親世帯に5万円の臨時特別給付金を支給。子どもが1人増えるごとに3万円ずつ加算。

◆全国知事会が大幅な増額を求めていた「地方創生臨時交付金」は、1次補正の1兆円に2兆円を積み増しました。

2020年度第2次補正予算案の主な施策

医療	緊急包括支援交付金の積み増し	2兆2370億円
	ワクチン・治療薬の開発	2055億円
	医療機関などへのマスクなどの配布	4379億円
事業者	家賃支援給付金の創設	2兆242億円
	雇用調整助成金の拡充	4519億円
教育	教員・学習指導員などの追加配置	318億円
	感染症対策・学習保障など	421億円
	光ファイバーの整備推進	502億円
文化・芸術	緊急総合支援パッケージ	560億円
ひとり親世帯	5万円の臨時特別給付金	1365億円
自治体	地方創生臨時交付金の積み増し	2兆円

2次補正 大きな穴・スピード・予備費

三つの問題をただす論戦を

志位和夫委員長が会見

第2次補正予算案について、志位和夫委員長は、「世論と論戦におされて、医療支援、家賃支援、雇用調整助成金の上限引き上げなど一連の拡充策が盛り込まれたことは前進であり、国民の声が政治を動かした結果だ」と指摘しました。

同時に「大きな穴がある」として2つあげました。1つは再開される学校への支援での教員の加配は全国でわずかに3100人。全国には小中学校が3万校あり、10校のうち9校は加配なしになると指摘。2つ目は学生に対する支援が盛り込まれたものの、対象があまりに狭いとして、「多くの学生のみなさんが要求しているように一律授業料の半額に踏み込む必要がある」と表明しました。

問題の第2は、スピードの問題。志位氏は「今の大変大きな問題は、支援が届くスピードがあまりにも遅いこと」と強調。雇用調整金や特別給付金、持続化給付金について支給が遅れており、「これでは倒産と失業を止めることができず」と批判しました。



第3の問題は、予備費に10兆円をあてていることです。「財政民主主義の観点からしても、財政支出約32兆円のうち予備費が3分の1を占めていることが大きな問題。こうしたやり方が横行したら予備費の意味をなさなくなります」として、3つの問題にかかわって、国会質問でただしていくと表明しました。

若者
応援

しんぶん赤旗電子版

2カ月無料

6/20まで読める



真実を伝える新聞、ネットでお申込みできます。

新型コロナの記事を無料公開

しんぶん赤旗
(日刊紙・日曜版)